

平成28年1月 定例委員会々議録

- 1 日 時 平成28年1月28日(木) 午前9時30分～
- 2 開催場所 会議室 301
- 3 出席委員の氏名
委員 長 齋藤 和夫 委員長職務代理者 黒川 優子
委員 山崎 克弥 委員 中野 信男
委員 秦 久美子 教育長 上原 洋一
- 4 欠席委員の氏名 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子 彰男 主 幹 長谷川 智
学校教育課長 山田 公一 子育て支援課長 宮路 豊行
社会教育課長 堀 克彦 指導主事 尾崎 誠
- 6 本委員会書記
学校教育課 加藤 篤 聡 他2名
- 7 傍聴人
1名
- 8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 共催・後援の教育長専決報告(2件)

議案

- 議案第1号 燕市児童クラブ条例施行規則の一部改正について
議案第2号 燕市保育の必要性の認定に関する規則の一部改正について

その他

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時30分～

2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

○委員（黒川 優子）

いじめ対策に関する会議があるが、いじめの件数は減っていない、いじめは受けた側が尾を引くことが多い。市長も義務教育だけでなく高校まで視野に入れているなので、フォローをしっかりとお願いしたい。

○主幹（長谷川 智）

いじめの件については、現状の把握、その後の追跡調査も行っている。引き続き気をつけていきたい。

○委員長（齋藤 和夫）

いじめについては、加害者側も尾を引く問題であり、将来の人間関係にも影響が出てくる。問題が発生しないよう、早め早めの対策をお願いしたい。

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

●大雪の影響について

○1月25日、26日と雪は多かったが、小中幼保各施設で休校等はなく、事故報告もなかった。一部部活で休みがあったくらいの状態である。

●入試の季節

○1月9日（土）に入試があった燕中等教育学校の合格発表が17日（日）に行われ、定員80人に対して受検した児童は78（122）人、うち燕市内からは48（71）人が受験し、燕市内からの合格者は48（52）人。志願者全体に占める燕市内小学校は60%とこの3年で最も多い。

○中学3年生の多くは1月19、20日に私立高校の入試を受け、受験シーズンが開幕した。19日（火）には長岡高専の推薦入試も。2月12日には公立高校特色化選抜がある。高校3年生も1月16日（土）17日（日）に行われた大学入試センター試験の自己採点に基づき出願先を決めるとともに、始まりつつある私

立大学の一般入試に臨んでいる。

●平成 27 年度燕の学校教育・研修成果等報告会（1 月 13 日）

- 標記報告会を実施させていただいた。燕市内の学校からの参加は 82（H26：64、H25：77）人。市議会総務文教常任委員、小中学校の発展を願う市民の会、事務局含め 99 人。
- 内容は「県外研修視察報告」、「放課後学習室」、「新潟大学パートナーシップ事業（小学校国語、中学校英語）」、「長善館若手教師塾事業」の 4 つ。
- 県外視察のうち、吉田小高詰教諭は、富山市立広田小学校、富山大学附属小学校において学力向上に向けた授業づくりについて視察を行った結果をふまえ、すでに自らの授業実践で工夫しているとの報告があった。
- 放課後学習塾については、吉田南小から実施状況及び成果と課題が報告された。コーディネーターやボランティアの熱意と愛情が伝わる結果だった。
- 新潟大学パートナーシップ事業の実施校である松長小の佐野教諭は、「伝え合い、自ら表現する子どもの育成」として 1 年目の取組による成果と課題を発表した。
- 同じく、分水中の石田教諭から中学英語学力向上対策として、授業改善に向けた取組や組織的な取組について成果と課題が報告された。
- 最後に今年度から実施した長善館若手教師塾については、燕北の河村教諭から、授業公開、参観や協議会を通じて授業改善が図られ、子ども同士のかかわり合いが良好になったこと、学力が高まったことが報告された。

●東京ヤクルトスワローズ関係

- 館山投手が来燕し、1 月 24 日に野球教室を、25 日には吉田北小で講演会を実施した。
- マスコット着ぐるみの「つばみ」が、1 月 26 日燕西幼稚園、地藏堂保育園を訪問し園児とダンス等でふれあう機会があった。

○委員（中野 信男）

燕中等教育学校について、昨年と今年で受験者に随分と差がある。

○教育長（上原 洋一）

今年度は結果として定員割れ状態となった。昨年度は 1.5 倍であった。

○委員長（齋藤 和夫）

燕の学校教育・研修成果等報告会について、形は整ってきたと思う。しかしこの種の報告会は、回を重ねると、形は整うが内容がおろそかになってしまう傾向がある。研修を終えた教員の学校での実際の取組はどうか。事務局で把握

していないようなら、フォローと報告をお願いしたい。

(3) 共催・後援の教育長専決報告

2件の後援申請について

《山田学校教育課長が報告》

4 議案

議案第1号 燕市児童クラブ条例施行規則の一部改正について

議案第2号 燕市保育の必要性の認定に関する規則の一部改正について

《宮路子育て支援課長が説明》

○委員（山崎 克弥）

1月以降、マイナンバー制に伴う各種書類に、個人番号の記載が必要となった。個人番号の記載については、当然、管理の問題を伴う。情報漏洩等の懸念がいろいろとある。制度そのものについては否定するつもりもないが、個人番号をどのように活用するのか。

○子育て支援課長（宮路 豊行）

保護者の申請等の利便性を高めることに繋がると考えている。保育料の算定には前年度の収入状況等の把握が必要である。特に市外からの転入者は従前の住所地から証明を取り寄せていただく必要があったが、そのような手間は今後、省ける。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5 その他

○教育次長（金子 彰男）

インフルエンザが市内でも拡大中である。主に分水地区で流行しており、分水北小学校で休校処置となったので報告したい。

6. 閉 会 午前9時55分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
